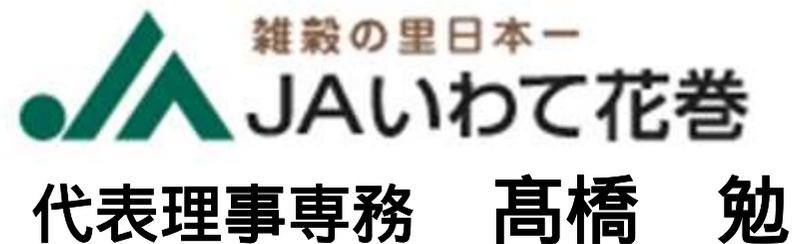


# 大型合併JAの運営は組織力の強化から 広域合併JAの実践



# J Aの概況

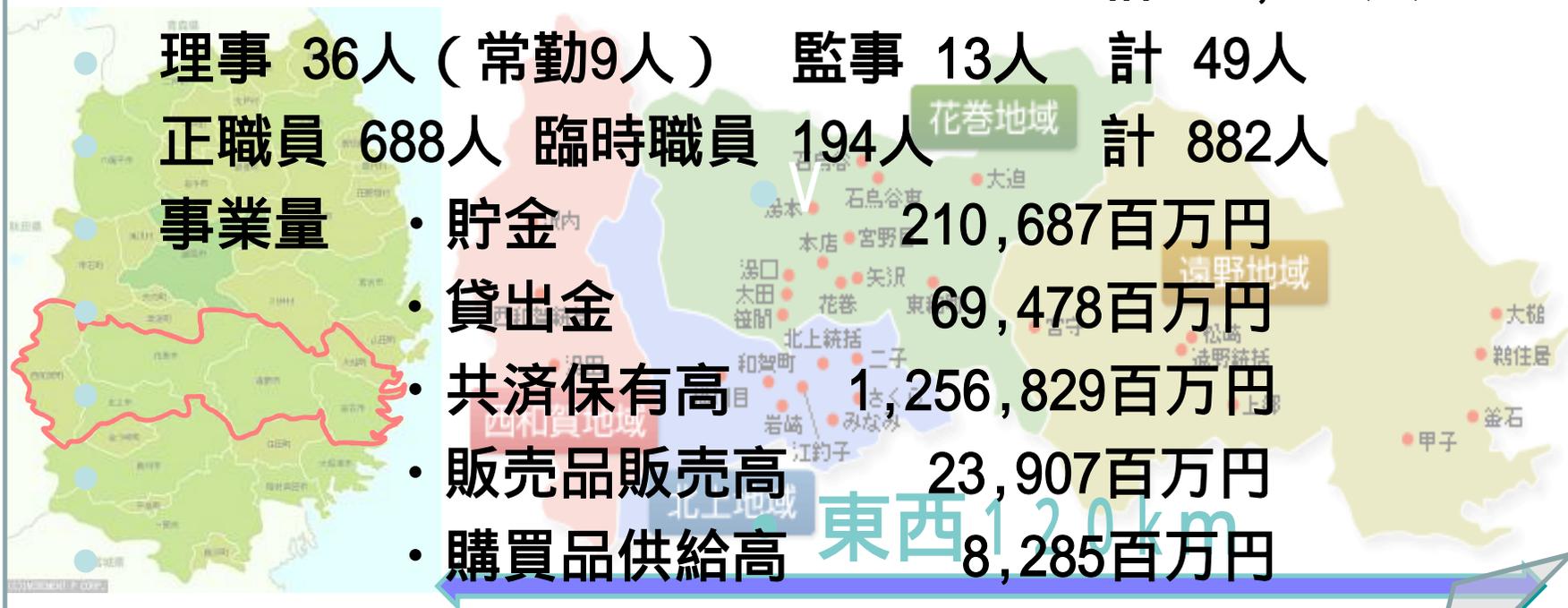
- 正組合員数 25,355人 准組合員数 17,989人
- 計 43,344人

- 理事 36人（常勤9人） 監事 13人 計 49人

- 正職員 688人 臨時職員 194人 計 882人

## 事業量

- 貯金 210,687百万円
- 貸出金 69,478百万円
- 共済保有高 1,256,829百万円
- 販売品販売高 23,907百万円
- 購買品供給高 8,285百万円



# 合併の経過と課題 合併の背景

## 課題

- 脆弱 J A の解消
- 減損会計、新 B I S 規制、債権管理の甘さ、  
● 過大な設備投資 累積赤字の発生
- 地域農業の弱体化
- 高齡化、担い手不足、輸入拡大 販売高の減少

## 岩手県下 6 J A 体制とする合併構想

## 課題の解決

- 救済 J A の不良債権、資産の処分
- 全国へ支援要請
- 経営健全化計画の策定
- 平成 20 年 5 月合併

# 合併の経過と課題 目指すべき方向

## 目指すべき方向

地域特性を活かした産地づくり

総合事業を活かした活力ある地域社会の実現への貢献

J A 運動を支える組織づくり、事業基盤づくり

J A 改革による万全な経営の確立



## 合併後浮かんだ課題

組合員意識の相違

組合員対応の格差

役職員の意識の相違

労働生産性の地域格差

# 組織力を強化するための実践

## 信頼と信用を築く取り組み

### Point 1

合併後、突然発覚した**不祥事**

絶対不祥事を出さない再発防止策の取り組み

### Point 2

地域貢献活動の取り組み

- ・ 消防団、P T A活動
- ・ 認知症サポーター
- ・ 支店行動計画の策定実践

### Point 3

財務健全化計画の早期達成

合併時10力年計画を合併5年で達成

# 組織力を強化するための実践

## 信頼と信用を築く取り組み



### 地域貢献活動の取り組み

- ・ 消防団、P T A活動
- ・ 認知症サポーター
- ・ 支店行動計画の策定実践

# 組織力を強化するための実践

## 距離を縮め一体感を醸成する取り組み

### Point

組合員組織の統合・育成  
全役員出席での集落座談会の開催  
地域を超えた職員人事異動の実施  
ネットワークシステムの導入  
全職員による地域担当制の導入  
広報誌「ぽらーの」の発行

# 組織力を強化するための実践

## 距離を縮め一体感を醸成する取り組み



農家組合協議会の統合



全職員による地域担当制



# 組織力を強化するための実践

## 集落組織担い手の育成

### Point

集落営農の支援  
行政とワンフロアー化  
トータルアドバイザーの設置  
集落担当職員の配置・対応支援  
担い手の育成  
農家組合営農座談会の開催

# 組織力を強化するための実践

## 集落組織担い手の育成



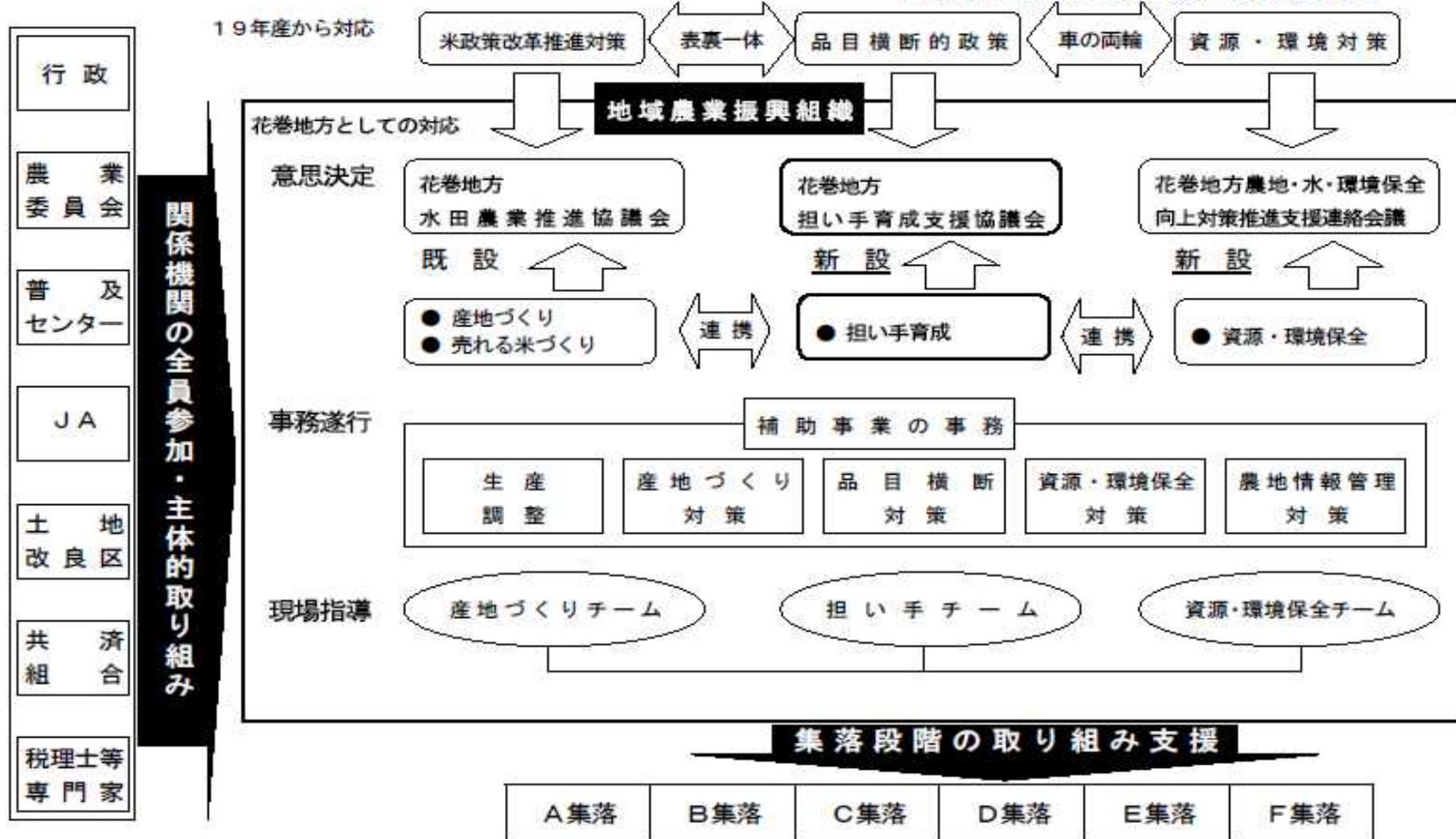
集落営農の支援



行政とワンフロアー化

# 組織力を強化するための実践

経営所得安定対策等の具体化についての国の考え方に対応した花巻地方の考え方  
 平成19年度  
 花巻地方振興協議会 集落営農・担い手支援対策室



# ・組織力を強化するための実践

## 教育文化活動の取り組み

*Point*

食の農を結ぶ活動の取り組み  
組合員・地域住民との触れ合い

# 組織力を強化するための実践

## 教育文化活動の取り組み



# 組織力を強化するための実践

## 教育文化活動の取り組み



# 組織力を強化するための実践

## 合併メリットの追求

### Point

広大な地の利を活かした産地づくり  
施設の効率利用  
物流の合理化  
農家支援体制の強化  
事業整理・統合  
企画部門、監査体制・リスク管理体制の充実

# 組織力を強化するための実践

## 合併メリットの追求



# 組合員・地域の声をJA運営に反映

## Point 1

### 役員執行体制の見直し

- ・ 経営管理委員会の導入検討
- ・ 常勤体制の見直し
- ・ 女性の登用

## Point 2

### 女性の声を反映するための諮問機関

- ・ 燦燦運動実践員会の設置

## Point 3

### 理事会の補完機能

- ・ 運営審議会（各地域選出70名、任期3年）

## ・ 組合員・地域の声をJA運営に反映



女性の声を反映するための諮問機関  
・ 燦燦運動実践員会の設置

# 3年間の成果と今後の取り組み

## 3年間の成果

### 組織運営

組合員意識の変化

協力組織の統合による目的意識の高揚

行政との連携

地域エゴが希薄

### JA経営

経営方針の徹底による収支改善

組合員の事業利用率の向上

農家支援対策等の取組みによるJAに対する評価

職員の底上げ

不良債権、遊休資産等の処理の進展

## 3年間の成果と今後の取り組み

### 今後の取り組み

低利用水田の解消による農家所得の向上  
経営の健全化、経営基盤の確立  
組合員との交流をとおした人づくりと地域づくり  
地域貢献活動に対する意識の高揚  
利用者満足度の向上

## まとめ

- ◆ とてつもない大規模合併を経営改善に重点を置いて勧めてきていた
- ◆ 組合運動の基本理念や活動方針を組合員に伝えないことが、集落機能の低下、事業量の低下、利用量の低下につながった
- ◆ 権利主張の顧客になってしまった。義務はバブルとともに消えていった
- ◆ 徐々にではあるがJAが合併して良かったといわれる
- ◆ トップリーダーの強い信念と強いリーダーシップが必要であった。支える役員や組織リーダーの支援が無ければ実現できなかった

# ご静聴ありがとうございました

新鮮で安全な農畜産物を作るには、  
「いい土」と「きれいな水」が基本です。  
そして、農家の愛情が加わることで  
消費者にも”おいしさ”が伝わるものであり、  
「農と共生」の心がここに生きています。



## JAIわて花巻は、

イーハトーブの大地に根ざした、  
環境にやさしい農業をめざして  
“発信”します。

